HTMLのキホン

1. はじめに: Webページってどうやってできてるの?

みんなが普段見ているWebサイト、例えば学校のホームページや好きなアーティ ストの公式サイト、ニュースサイトなどは、どうやって作られているか知ってい ますか? その基本的な設計図となるのが、これから学ぶ HTML (HyperText Markup Language) なんです。

HTMLは、Webページに表示したい文章や画像、リンクなどを「ここに見出しを 置く」「ここに画像を貼る」「ここから別のページに飛ぶ」といった指示をコン ピューターに伝えるための特別な言葉(マークアップ言語)です。

家を建てるときにまず骨組みを作るように、Webページを作るときもまずHTML で「どこに何を表示するか」という **骨組み**を作ります。HTMLを学ぶことで、 Webページがどのように構成されているかを理解し、自分で簡単なWebページを作 れるようになります。

2. HTMLのキホン:タグと要素、属性

HTMLでは、 **タグ**と呼ばれる特別な記号を使って、コンピューターに指示を出 します。

タグ (Tag)

タグは、 く と > で囲まれた命令のことです。例えば、文章の段落を作るに は というタグを使います。

多くの場合、	タグは	開始タグ)	と	終了タグ	()	の
ペアで使われ、	その間に	内容を記述	じしま	す。終了	<u> </u>	グにはスラ	ッシ	בי 🤇	$\overline{)}$	が
入るのが目印で	す。									

これは段落です。

要素 (Element)

この 開始タグ + 内容 + 終了タグ のひとまとまりを 要素 と呼びます。上の例では これは段落です。 全体が「p要素」です。Webページは、たく さんの要素を組み合わせて作られています。

属性 (Attribute)

タグには、追加情報(設定)を与えるための <mark>属性</mark> を指定できる場合がありま
す。属性は、 <mark>開始タグの中</mark> に <mark>属性名="値"</mark> の形で記述します。
例えば、リンクを作る <a> タグには、 href という属性を使っ て、リンク先のURLを指定します。
NITAC公式サイトへ
この例では、 <a> がタグ、 href="https://www.nitac.jp/" が属性、 NITAC公式サイトへ が内容です。これで「NITAC公式サイトへ」という文字 をクリックすると、指定したURLにジャンプするリンクになります。

空要素 (Empty Element)

タグの中には、内容を持たず、終了タグが	ないものもあります。これを	空要
素 と呼びます。例えば、画像を表示する	<mark>〈img〉</mark> タグや、改行する	
タグがそうです。		

```
<img src="logo.png" alt="ロゴ画像">
<br>
```

3. HTML文書の骨組みを見てみよう

どんなWebページも、基本的には次のような決まった骨組み(構造)を持っています。

<!DOCTYPE html> <html lang="ja"> <head> <meta charset="UTF-8"> <title>ここにページのタイトルを書きます</title> <!-- ここにはWebページに直接表示されない情報が入ります --> </head> <body> <h1>こんにちは!</h1> ここにWebページに表示したい内容を書きます。 <!-- 画像やリンクなどもここに入ります --> </body> </html>

それぞれの部分が何をしているか見てみましょう。

- <!DOCTYPE html> : 「このファイルはHTML5という最新ルールのHTMLですよ!」と宣言するおまじないです。必ず一番最初 に書きます。
- <html>: HTML文書全体の始まりと終わりを示します。すべての要素はこの <html> タグの中に書きます。
 - Lang="ja" : これは html タグの属性で、「このページの主な言語は日本語ですよ」と示しています。
- <mark>↓ <head></mark> : Webページそのものに関する設定情報を書く部分です。ここに書いた内容は、通常Webページには直接表示されま せん。人間でいうと「頭脳」のような部分です。
 - <mark>○ 【meta charset="UTF-8"></mark>:文字化けを防ぐためのおまじないです。「文字コードはUTF-8を使います」と指定していま す。
 - </title> : Webページのタイトルを指定します。ブラウザのタブや、お気に入りに登録したときに表示される名前にな ります。
- <mark>↓ 〈body〉</mark> : 実際にブラウザの画面に表示される内容(見出し、文章、画像、リンクなど)を書く部分です。人間でいうと 「体」にあたる、Webページのメイン部分です。

このように、HTMLでは要素が別の要素の中に入る「入れ子構造」で全体の骨 組みを作っていきます。

4. 様々な使ってみよう

<body> タグの中に書く、代表的なタグをいくつか紹介します。

ただし、ここにあるものを全て覚える必要はありません。 実際に、Webペ ージを作るときは、必要なものを調べながら使っていくことが多いです。まずは 「こんなタグがあるんだな」と知っておいてください。

見出し (<h1> ~ <h6>

文章のタイトルや小見出しを作るタグです。 <h1> が一番大きな見出し(大見 出し)で、<mark>〈h2〉</mark>, <mark>〈h3〉</mark>... と数字が大きくなるにつれて、見出しのレベル (重要度)が下がっていきます。見出しを適切に使うことで、文章の構成が分か りやすくなります。

<h1>一番大きな見出し(ページのタイトルなど)</h1> <h2>中くらいの見出し</h2>

見出しを使うと、どこに何が書いてあるか分かりやすくなりますね。



文章のまとまり(段落)を作るタグです。文章は基本的にこの タグで囲 みます。ブラウザでは、 タグで囲まれた部分は前後に少しスペースが空い て表示されます。

これは最初の段落です。HTMLはWebページの骨組みを作ります。 これは二番目の段落です。タグを使って要素を配置していきます。

注意: HTMLでは、エディタで改行しても、ブラウザ表示では改行されません。改行したい場合は、次の 〈br〉 タグを使います。

改行 (
)

文章の途中で強制的に改行を入れたいときに使う空要素です。 タグのよう に段落全体のスペースは空きません。

ここで改行します。
次の行です。

リンク(<a>

他のWebページや、同じページ内の別の場所にジャンプするためのリンクを作る タグです。 href 属性で行き先のURL (Webアドレス) やファイル名を指定しま す。

詳しくはMDNのHTML解説をご覧ください。

<!-- 同じフォルダにある別のHTMLファイルへのリンク --> 次のページへ

```
<!-- クリックすると新しいタブで開くリンク -->
<a href="https://example.com" target="_blank">新しいタブで開く</a>
```

target="_blank" という属性を追加すると、リンクを新しいタブ(また

はウィンドウ)で開くことができます。



Webページに画像を表示するための空要素です。src 属性で画像の場所(ファ イル名やURL)を指定し、alt 属性で画像が表示されなかった場合や、音声読 み上げソフト用の代替テキストを指定します。

<!-- 同じフォルダにある画像を表示 --> <!-- インターネット上の画像を表示 --> <!-- サイズを指定する場合 (CSSでの指定が推奨されます) -->

width (幅)や height (高さ)属性で画像のサイズを指定すること もできますが、通常は後で学ぶCSSで行うのが一般的です。 alt 属性は必ず 指定するようにしましょう。

リスト(),) ,

項目をリスト形式で表示するタグです。

- (Unordered List): 順序のない箇条書きリストを作ります。通常、点(・)などで表示されます。
- 【
 (Ordered List): 順序のある番号付きリストを作ります。通常、1, 2, 3... と番号が付きます。
- <mark>〈li〉 (List Item)</mark>: 各リストの項目を表します。 <mark>〈ul〉</mark> または <mark>〈ol〉</mark> の中に書きます。

<h4>好きな果物(順不同)</h4>	
<lu><lu><lu><lu><lu><lu><lu><lu><lu><lu><lu><lu< th=""><th></th></lu<></lu></lu></lu></lu></lu></lu></lu></lu></lu></lu></lu>	
くli>りんご	
バナナ	
くli>みかん	
<h4>朝の準備(順番通り)</h4>	
<01>	
えしいとして、	
るしまたので、 くしまたので、 して、 して、 して、 して、 して、 して、 して、 して	
くli>朝ごはんを食べる	
ki>歯を磨く	

区切り線 (<hr>>)

話題の区切りなどに、水平線を表示するための空要素です。





他の人の言葉や文章を引用するためのタグです。通常、インデント(左側に余 白)が付き、引用符が表示されます。

```
<blockquote>
「HTMLはWebページの骨組みを作るための言語です。」
<footer>— W3C</footer>
</blockquote>
```

(

改行を入れたいときに使う空要素です。文章の途中で強制的に改行を入れます。

ここで改行します。
次の行です。

ボタン(<button>)

ボタンを作るためのタグです。通常、クリック可能なボタンが表示されます。

<button type="button">クリックしてね!</button>

フォーム (<form>)

ユーザーからの入力を受け取るためのフォームを作るためのタグです。通常、テ キストボックスやラジオボタン、チェックボックスなどが含まれます。

```
<form action="/submit" method="post">
<label for="name">名前:</label>
<input type="text" id="name" name="name">
<input type="submit" value="送信">
</form>
```

グループ化 (〈div〉, 〈span〉)

これらのタグ自体は、見た目に直接影響を与えることは少ないですが、複数の要素をまとめたり、文章の一部をグループ化したりするために使います。後で学ぶ CSSでデザインを適用する際に、非常に重要な役割を果たします。

- 〈div〉: ブロックレベル要素(通常、前後に改行が入る)をまとめるための汎用的な箱です。関連する要素群(例えば、 記事全体、サイドバーなど)を囲むのによく使われます。
- : インライン要素(通常、前後に改行が入らない)をまとめるためのタグです。文章の一部分だけ(例えば、特定の単語)にスタイルを適用したい場合などに使います。

<div class="profile">

```
フロントエンド2

<img src="me.jpg" alt="自分の写真">

自己紹介文

</div>

class="article" や class="important" は属性ですが、これは主に
CSSで特定の要素を指定するために使われます(今は「こういう使い方があるん
だな」くらいでOKです)。
```

2025/06/16

□メント (<!--->)

<!-- と --> で囲まれた部分はコメントとなり、ブラウザには表示されません。コードの説明を書いたり、一時的にコードの一部を無効にしたりするのに使います。

<!-- ここは見出しです --> <h1>ページのタイトル</h1>

本文です。<!-- <p>この行は一時的に表示しません。 -->

その他

- 【】:表を作るためのタグです。行()と列()を組み合わせて、データを整理して表示します。
- 'セマンティックタグ': , (section, section, <a href="h

他にもたくさんのタグがありますが、まずはこれらの基本的なタグを覚えて おくと良いでしょう。

5. まとめ: HTMLでできること

お疲れ様でした!これでHTMLの基本的な骨組みと、よく使うタグについて学ぶこ とができました。

- HTMLはWebページの <mark>骨組み(構造)</mark> を作るための言語です。
- **タグ**を使って、見出し、段落、画像、リンクなどの要素を配置します。
- **属性**を使って、タグに追加情報を与えます。
- HTMLだけだと、見た目はとてもシンプルです。

HTMLはWeb制作の第一歩です。まずはこのHTMLでページの構造をしっかり作れ るようになることが大切です。 次のステップでは、CSS (Cascading Style Sheets) という別の言語を学び ます。CSSを使うと、HTMLで作った骨組みに色を付けたり、レイアウトを整えた りして、Webページの 見た目をデザイン することができます。HTMLとCSSを組 み合わせることで、本格的なWebページが作れるようになります。

補足:タグの表示タイプ

HTMLのタグには、表示されるとき、主に3つの「表示され方」のタイプがありま す。今後学ぶCSSの display というプロパティで設定され、初期値はタグによっ て決まっています。

このプロパティよって、「改行されるか?」「幅や高さを変えられるか?」 が変わります。 特に 改行についてうまくいかないときに しの知識が必要にな ります。

1. ブロックタイプ (display: block)

特徴

- 前後で
 勝手に改行
- 幅や高さを自分で決められる
- 特に幅を指定しない場合、、左右のスペースが最大に広がる

タグの例

•	<h1>~<h6>(見出し)、 (段落)、 <div>(グループ化の箱)</div></h6></h1>
•	 (ul>, (リスト)、 <hr/> (線)
•	<pre><header>, <footer>, <article> などのセマンティックタグ</article></footer></header></pre>

<div style="border: 1px solid red;">ブロックタイプ。改行される</div> ブロックタイプ 幅も高さも変えられる! <!-- 自動的に縦に並んで、横幅いっぱいに広がろうとするのが特徴 -->

2. インラインタイプ (display: inline)

特徴

- 前後で改行されず、
 横に並ぶ
- 幅や高さを指定しても 無視される
 (中の文字や画像のサイズで決まる)

フロントエンド 2 20	25/06/16
• 上下の margin (外側の余白)は効かない(左右は効く)	
• padding (内側の余白)は上下左右に効くが、レイアウトに影響するのは左右のみ	
タグの例	
• <a> (リンク)、 (グループ化)	
• , , <u> (文字装飾)</u>	
• <input/> , <button>, <label> (フォーム関連の一部)</label></button>	
インラインタイプ。	
横に並びます。	
<pre>幅や高さな</pre>	を指定し
ても効かない。上下マージンも効かない。〈/span〉	
文章の一部のように、行の中に埋め込まれるイメージ	

これらは、主にブロックタイプの要素の中に入れて使います。例えば、 〈p〉 タグの中に 〈a〉 タグを入れたり、 〈div〉 タグの中に 〈span〉 タグを入れたり、 み行がうまくいかないご

```
<span> タグを入れたりします。そうでないと、改行がうまくいかないこと
があるので注意が必要です。
```

これは段落(ブロックタイプ)の中にリンクがある例です。

3. インラインブロックタイプ (display: inline-block)

ブロックとインラインのいいとこ取りをしたようなタイプです。

特徴

- 前後で改行されず、
 横に並ぶ
 (インラインの特徴)
- 幅や高さを 自分で決められる (ブロックの特徴)

タグの例

- (画像)
- <button>, <input> (フォーム関連の一部)

インラインブロ ック。

<button style="display: inline-block; border: 1px solid brown; width: 100px; height: 50px; margin: 10px;">幅も高さも指

定できて、	横に並ぶ!		

<!-- 横に並べたいけど、サイズも指定したいときに便利 -->

このタイプは、特に画像やボタンなど、サイズを指定したいけど横に並べた いときに便利です。例えば、複数の画像を横に並べてギャラリーのように表示し たいときなどに使います。

また、ブロックタイプの要素の中にインラインブロックタイプを入れること もできます。例えば、 くdiv> タグの中に くspan> タグを入れたり、 くp> タグの中に くbutton> タグを入れたりします。

<div style="border: 1px solid gray;"> これは段落の中に<button>ボタン</button>がある例です。 </div>

表示タイプのまとめ

これらの表示タイプは、CSSで displa	ay プロパティを使って変更することもで
きます。例えば、 <a> タグ(インラ	イン)をボタンのように見せるために
display: inline-block; や display	<mark>:block;</mark> に変更することはよくありま
す。	

タイプ (<mark>display</mark>)	改行されるか?	幅・高さ指定	横に並ぶか?	タグの例(初期値)
block	する	できる	しない	$\langle div \rangle$, $\langle p \rangle$, $\langle h1 \rangle$, $\langle ul \rangle$ $k E$
inline	しない	できない	する	$\langle span \rangle$, $\langle a \rangle$, $\langle strong \rangle$, $\langle em \rangle$ など
inline-block	しない	できる	する	$\langle img \rangle$, $\langle button \rangle$, $\langle input \rangle$ $tack$

最初は混乱するかもしれませんが、「なんか表示が思った通りにならない な?」と思ったときに、この表示タイプの違いを思い出してみてください。